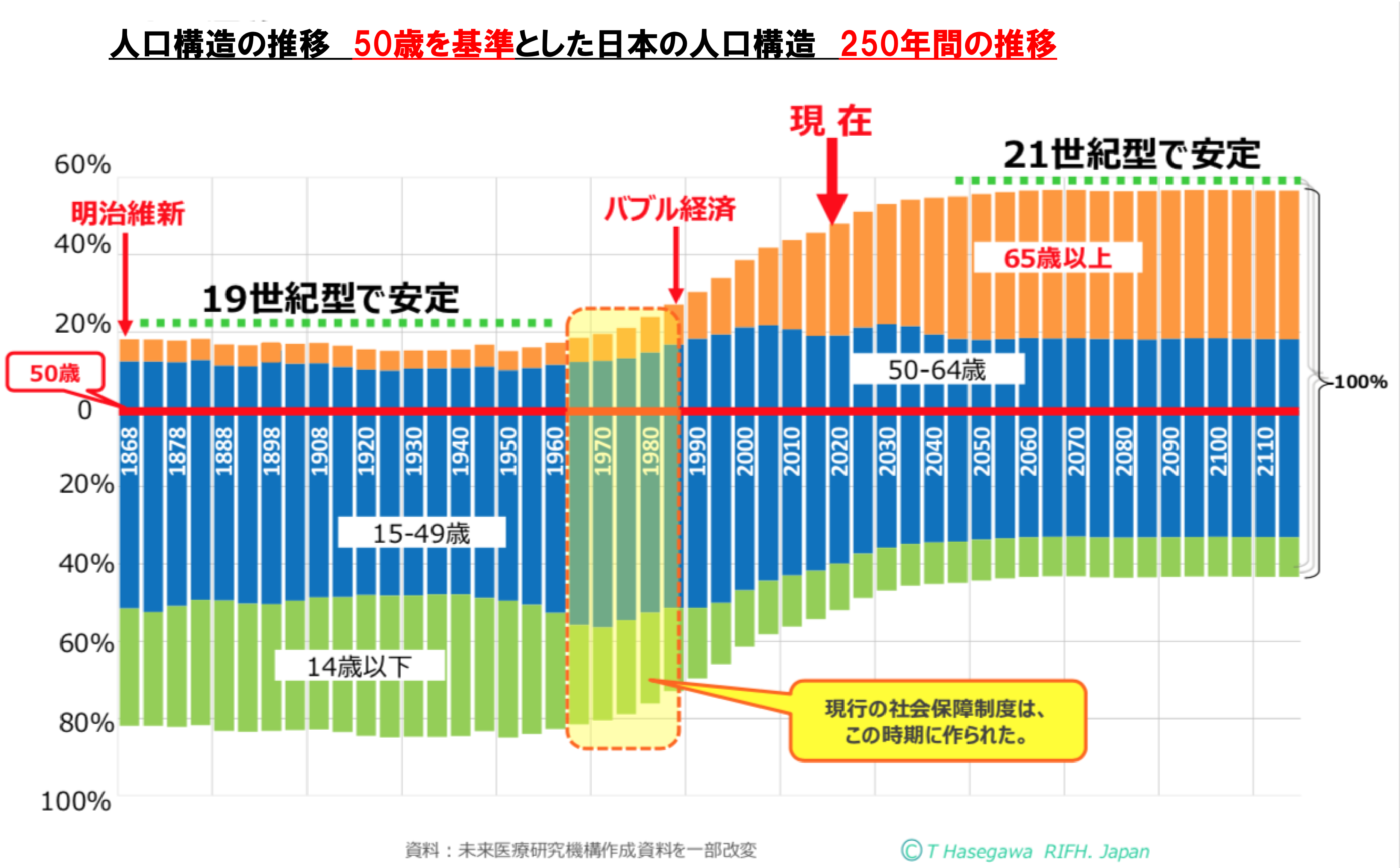
令和４年11月24日
第102回社会保障審議会介護保険部会
提出資料

神奈川県知事　黒岩　祐治

日本の人口構造（年齢層別人口割合の推移）



常識（価値観）の変革

■ 高齢化、人生100歳時代の到来

支えるのは大変！

これまでの常識

高齢者は
支えられる存在

コストモデル

→

発想の転換

高齢者は
<u>社会的に価値ある存在</u>

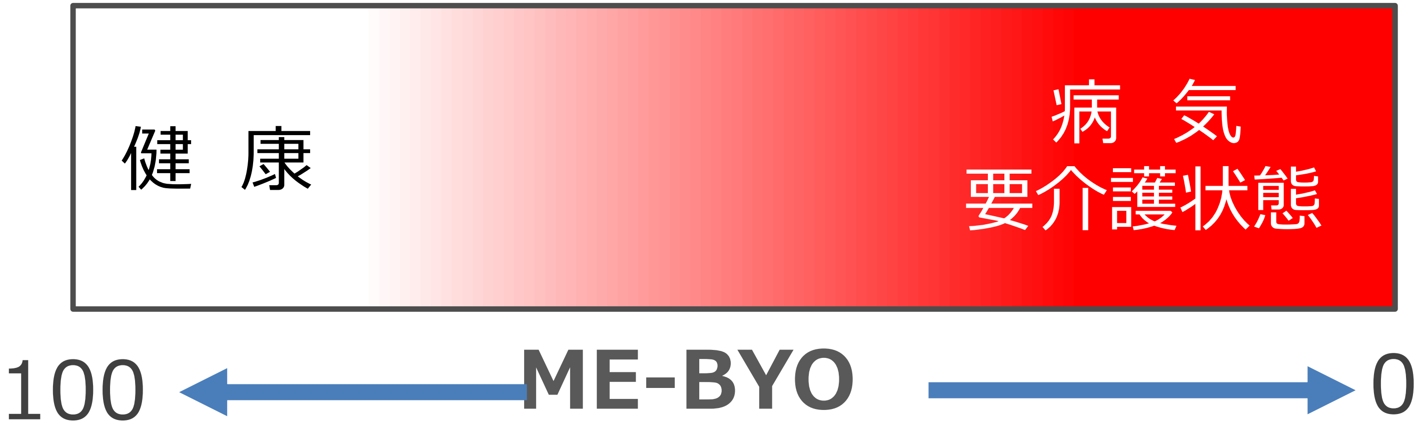
バリューモデル

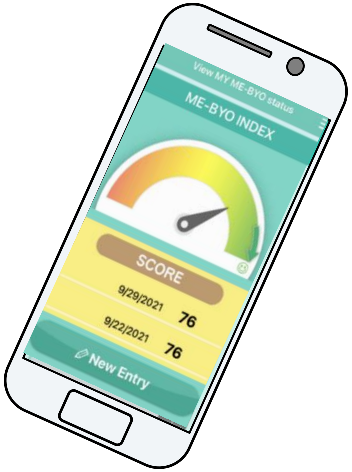
元気で長生き！

高齢者が価値を生み、経済的なサイクルを生み出す社会を構築

■ 重要な課題
高齢者の存在を、**コストからバリューに変えていく手法**

未病を「見える化」する未病指標
ME-BYO INDEX





未病指標の特長

<u>誰でも、どこでも、簡単に</u>未病の状態を測定可能

入　力

結　果

15項目

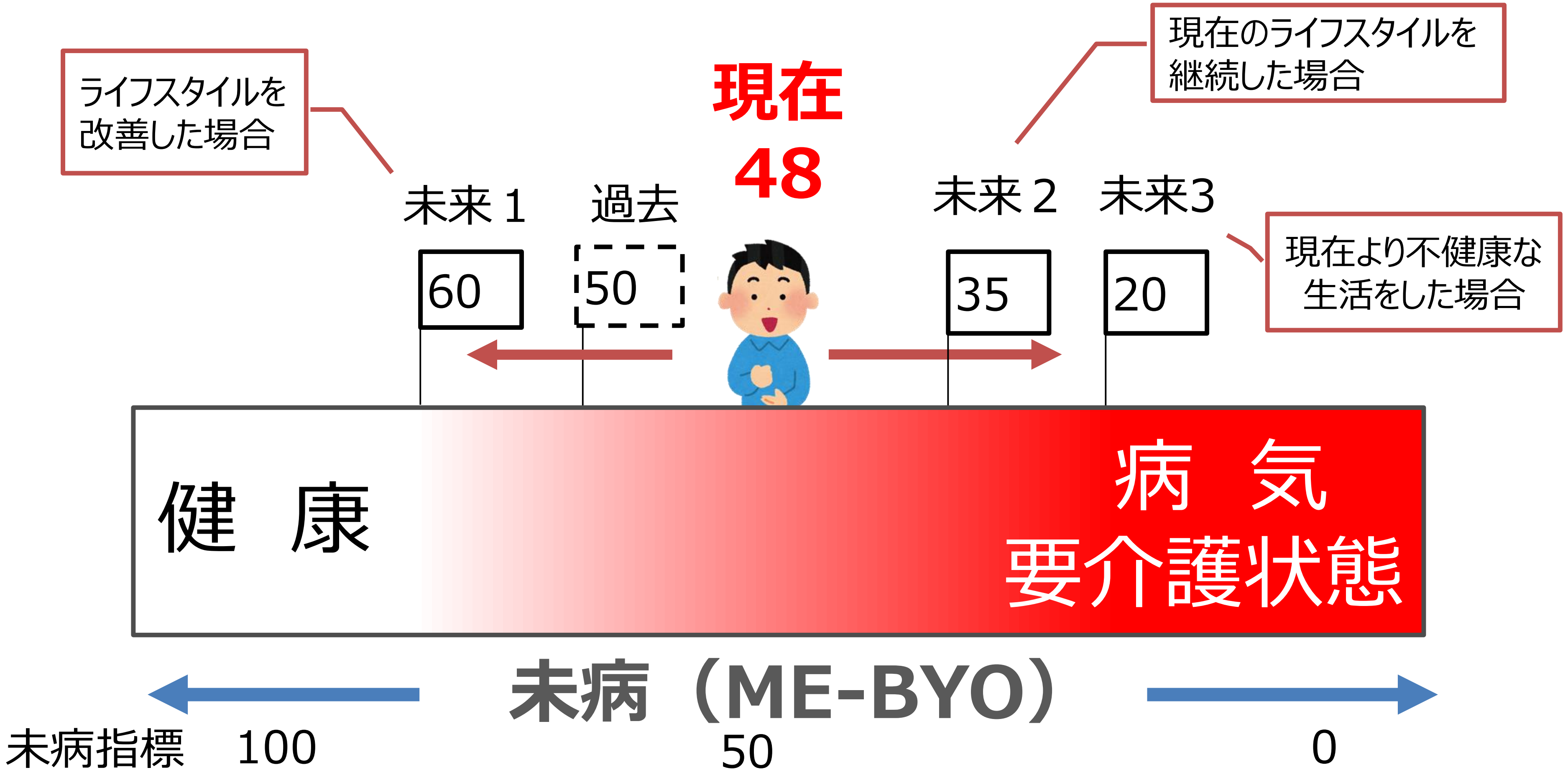
生活習慣領域
- 性別
- 年齢
- BMI（身長･体重）
- 血圧（収縮期）

認知機能領域
- Mini-Cog（3問）

生活機能領域
- ロコモ５（５問）
- 歩行速度

メンタルヘルス・ストレス領域
- 音声（MIMOSYS）

未病指標で自分ごと化する



未病指標で自分ごと化する

未来予測
＋ 改善へのインセンティブ → **行動変容の加速**

改善プログラム・介入モデル
のエビデンス付き評価 → **新たな産業の創出**

【参考】未病産業研究会会員数：993社（2022.11.1現在）

新たな社会システム

コストモデル

医療保険

疾　患

介護保険

老　化

バリューモデル

新たな社会システム
の必要性
（未病社会システム）

未病改善

高齢化社会をより良くする世界のリーダー50人

The Healthy Ageing 50

「国連健康な高齢化の10 年」（2021～ 2030 年）において、高齢化社会をより良いものにするために活動している世界のリーダー50 人に選定

【選定理由】「未病」という新たなコンセプトを提唱

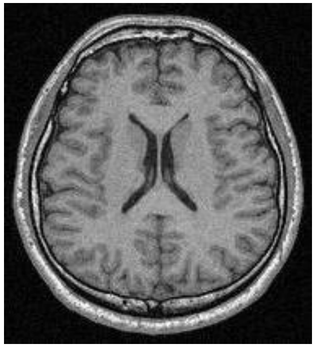
Decade of healthy ageing

Yuji Kuroiwa

Kanagawa Prefectural Government

未病指標の発展とテクノロジーの進化

京都大学の山川義徳特命教授が中心となり、
内閣府の「ImPACTプログラム」に採択



Brain
Healthcare
Quotient

100BHQ

BHQ

80BHQ

MRIで解析した脳画像を解析し、
脳の健康度を数値化するもの

- 早期検知・可逆性
- 未来予測
- 国際的評価

認知症分野における未病指標となりうる

Vibrant "Inochi"